

市議会だより

DAISEN CITY COUNCIL NEWS



中仙長野地域ソフトバレーボールクラブの皆さん



副市長・監査委員
の選任案に同意

主な内容

CONTENTS

- | | |
|------------------|-----|
| ■ 第2回定例会概要 | 2～3 |
| ■ 8人の議員が一般質問 | 4～7 |
| ■ 委員会審査のあらまし | 8～9 |
| ■ 政務活動費・市政懇談会の報告 | 11 |
| ■ 編集後記 ほか | 14 |

第2回定例会

第2回定例会は、5月29日から6月19日までの22日間の会期で行われました。

本会議1日目に、老松市長の市政報告、大仙市選挙管理委員会委員および補充員の選挙が行われました。また、市当局提出の副市長・監査委員の選任など人事案36件を同意、単行案1件を原案可決しました。

本会議4日目に、市当局提出の条例案2件、単行案4件、平成29年度補正予算案4件を原案可決したほか、陳情3件のうち2件を採択、1件を継続審査とし、意見書案2件を原案可決しました。

老松市長の就任後初めてとなる一般質問は、8人の議員が市政全般について質問しました。



本会議第2日目 一般質問

※第2回定例会の録画映像は、大仙市ホームページの議会のページでご覧いただけます
 (市議会トップページ→議会中継(映像アーカイブ)→平成29年第2回定例会 本会議)

人事案

▼副市長の選任について(全会一致で同意)

佐藤芳彦氏(花館上町〓新任)

▼監査委員の選任について(全会一致で同意)

福原堅悦氏(大曲福見町〓新任)

▼教育委員会委員の任命について(全会一致で同意)

中島康氏(佐野町〓新任)

高見文字氏(南外〓新任)

▼人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて(全会一致で同意)

高橋京子氏(北橋岡〓再推薦)

佐々木周悦氏(土川〓再推薦)

佐々木郁子氏(下鶯野〓再推薦)

伊藤泰子氏(協和上淀川〓再推薦)

豊嶋真紀子氏(協和船岡〓新規推薦)

このほか、固定資産評価審査委員会委員3名の選任、農業委員会委員24名の任命について全会一致で同意しました。

条例案

▼大仙市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について(賛成多数で可決)

個人情報保護の保護に関する法律及び行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する

法律(マイナンバー法)の一部が改正されたことに伴い、本条例において所要の条文整理が行われました。

【反対討論】

佐藤文字 議員(日本共産党)

マイナンバー制度は国会論戦で、①100%情報漏えいを防ぐ完全なシステム構築は不可能であること②意図的に情報を盗み、売る人間がいること③一度漏れた情報は流通・売買され、取り返しがつかないこと④情報は集積されるほど利用価値が高まり、攻撃されやすくなること、以上四つの危険性について政府も認めており、いまだ国民の不安を払拭することはできない。マイナンバー制度は中止すべき立場から、本案に反対する。

単行案

▼(仮称)花火伝統文化継承資料館等整備事業建築工事請負契約の締結について(全会一致で可決)

6億7176万円で高吉建設・荒屋舗建設特定建設工事共同企業体と工事請負契約を締結することを議決しました。

第2回定例会の概要



(仮称) 花火伝統文化継承資料館 (完成予想図)

▼財産の取得について(全会一致で可決)

消防用軽四輪駆動小型動力ポンプ付積載車8台を購入。取得金額は4708万8千円で、協和・太田地域に各1台、大曲・中仙地域に各3台配備します。

補正予算

▼平成29年度大仙市一般会計補正予算(第2号)(全会一致で可決)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ2億3039万6千円を追加し、補正後の総額は464億6327万2千円となりました。

主なものは、仙北太鼓が実施する平鈞太鼓等の整備およびドンパン祭

り実行委員会が実施するドンパン祭りに使用する緋の整備に係る助成金440万円、国の補助採択を受け実施する「花火用マツ炭」の生産等に係る経費1886万3千円、協和地域の「岩瀬・湯野沢地区堤防整備」に伴い、移転対象となる方々の集団移転先の住宅団地造成に係る測量試験および実施設計等の経費2286万4千円、藤木小学校の暖房用煙突に使用されているアスベストの飛散を未然に防止するための改修工事の経費2446万3千円などです。



「花火用マツ炭」の生産で産業を創出

▼平成29年度大仙市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)(全会一致で可決)

国の交付金の内示額が当初見込額を上回ったことから、大曲・神岡地域の管路工事等を追加して実施する経費8034万1千円です。

▼平成29年度大仙市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)(全会一致で可決)

国の交付金の内示額が当初見込額を上回ったことから、西仙北地域の強首浄化センター長寿命化対策工事について工事内容を追加して実施する経費1765万6千円です。

▼平成29年度大仙市スキー場事業特別会計補正予算(第1号)

大曲・協和・大台の各スキー場で、不具合が確認されたリフト設備等修繕工事の経費1176万5千円です。

本会議4日目 起立採決

(議案第100号)



第1回臨時会

第1回臨時会が4月19日に招集され、補欠選挙で当選された2名の議員の常任委員会委員の選任を決定し、老松市長の所信表明が行われました。また、市当局提出の専決処分報告5件を承認、単行案1件を原案可決しました。

▼財産の取得について(全会一致で可決)

小型除雪車(ロータリ除雪車1.3m級)2台を購入。取得金額は3445万2千円で、大曲地域と仙北地域に配備します。



所信表明を行う老松市長



新政会
小松 栄治 議員

**Q 日本遺産認定に対する
調査・選定の考えは**

**A 認定の主旨に合うよう
組み直し、再度協議する**

質問 観光促進のため、日本遺産に認定されるものを調査・選定する考えはないか。

市長 周辺自治体と連携して、平成28年に「美田・美酒・美人の郷」、平成29年に「古代城柵の歴史空間」をテーマに申請したが、認定に至らなかった。今後は、旧池田氏庭園や角間川の川港跡と旧地主屋敷群、刈和野の大綱引き、酒蔵などの文化財や伝統文化等を日本遺産認定の主旨に合うように組み直し、周辺自治体と再度協議してまいりたい。

企業誘致の状況は

「公共施設等総合管理計画」との整合性を図れるよう作業を進めている。地域の特徴を生かし、コンパクトで持続可能な住み良さを実感できる将来都市像を掲げ、街並みや商店街の再生に向けたまちづくりを進めていく。

質問 新都市計画、公共施設配置計画および新用途地域の指定計画の策定により、見据える将来都市像について伺う。

大仙市の将来像は

市長 人口減少などによる都市機能低下に対応するため「立地適正化計画」の策定を進めている。策定に当たり、用途地域や都市計画道路の見直しを検討するとともに、策定済みの「市総合計画」

質問 市長のトップセールスによる企業誘致の活動状況は。また、工業団地の確保等をどのように実施していくのか。

市長 市長就任以来、首都圏企業3社を訪問し、今月さらに2社を訪問する。また、企業誘致を進める上で、工場用地の不足は大きな課題であるため、今次定例会に工業団地の適地調査費を計上している。一方、企業誘致にはスピードが求められるため、工場の新設・増設等のために市内の土地を取得・賃借する企業に対し、補助制度を新設するとともに、統合により廃校になった旧校舎やグラウンドの利活用も提案していく。



大地・公明の会
秩父 博樹 議員

**Q 食品ロス削減についての
取り組みは**

**A 引き続き周知啓発に
努めていく**

質問 市内飲食店に協力をいただき、3010(サンマルイチマル)運動のテーブルトップやコースターでの啓発、宴会五箇条の配布など、できることから食品ロス削減に取り組むべきでは。

市長 市内飲食店等に食べ残しの状況などのほか、食品ロス削減に対する考えも聞き取りしたところ、概ね協力的なご意見をいただいている。忘新年会シーズンなどに全国共同キャンペーンの実施を予定しており、引き続き周知啓発に努めていく。

家庭ごみの展開調査を予定しており、家庭ごみに占める食品ロスの現状を把握し、削減目標を設定する。また、目標達成のための具体的取り組みや効果的な啓発方法なども検討していく。

質問 食品ロスの削減目標や基本計画など推進体制を構築し、具体的な数字を示した啓発活動の実施とともに、食品ロスに取り組む事業者への表彰や、家庭での啓発活動を実施すべきと考える。

市長 生活困窮世帯の「食」に対して支援を行う団体と、行政・社会福祉協議会などがネットワークを築いていくことは必要なことである。しかし、さまざまな条件もあるため、課題もあると伺っている。十分検討した上で可能なサポートをしてまいりたい。

市長 次期一般廃棄物処理基本計画に食品ロス対策も計画の柱の一つとして、数値目標等も含め盛り込んでいく。計画策定に当たり

※このほか、図書館の利用促進および効率化について、「住みやすいまち大仙市」のイメージアップ・知名度向上について質問しました。



だいせんの会
高橋 徳久 議員

**Q 国際花火シンポジウム後の
インバウンド推進は**

**A 花火を核とした情報発信を
一層進めていく**

質問 国際花火シンポジウムの集客数、また、経済効果はどれくらいあったのか。

市長 集客数は4月24日から29日まで開催されたシンポジウム、および期間中の「大曲の花火く春の章く」を合わせて、国内外より約8万人である。経済効果は県の経済波及効果分析ツールで試算した結果、約8億2千万円と見込んでいる。

質問 国際花火シンポジウム後のインバウンド推進、および台湾との姉妹都市構想についての見解は。

市長 海外の方々からの日本の花火技術への賞賛・感動の声は大きく、改めて花火のブランド力を実感した。シンポジウム開催を機に、花火を核とした情報発信を国内外に向け一層進めていく。姉妹都市構想は、大曲青年会議所と台湾の中和国際青年商會が28年前に姉妹協定を締結して交流を重ねており、中和国際青年商會と大仙市の親好にもつながっている。今年2月には大仙市観光物産協会と大曲青年会議所、太田の火まつり実行委員会等の訪問団が太田の火ま

つりの紙風船を上げ、好評を得ている。両会、両地域の交流が一層進展するためにさまざまな支援を行い、将来の友好交流都市を見据え、交流の拡大につなげてまいりたい。

県発表値との相違は

質問 大仙市の人口について、なぜ市の発表値と県の発表値に相違があるのか。

佐藤副市長 市では住民基本台帳の規定に基づき、出生・死亡・転入・転出を集計して、前月末現在の人口・世帯数に増減して広報に記載している。県発表の人口は「秋田県年齢別人口流動調査報告要綱」に基づいている。この算出方法は国勢調査人口を基礎に、県内の市町村間の転入・転出者数を含めないことから一致しないものである。この相違について疑問を持つ市民も多いと思われるので、県に対し、公表の際にはできるだけ分かりやすく注釈をつけるよう要望したい。



大地・公明の会
石塚 柏 議員

**Q 戊辰戦争を正当な評価に
できないか**

**A 戊辰戦争の記憶を次世代に
伝えるのは我々の責務**

質問 国は明治150年の関連事業の実施を呼びかけている。もし事業を実施するのであれば、戊辰戦争では秋田藩の歴史的な評価に誤解があるので、これを正当な評価にする機会はないのか。

市長 内閣府が進める明治150事業は、来年が明治150年の節目になることから、議会政治の導入や国際社会への対応など、自由・平等な明治期の精神に学び、

これからの日本のあり方を考える契機とするものである。明治元年の戊辰戦争は大仙市が激戦地のひとつであり、幕府軍、新政府軍共に多くの死傷者を出し、一般人も悲惨な状況に置かれた。身近な場所が近代国民国家へ移行するため、戦いに巻き込まれたという史実は、一般にあまり知られておらず、若い世代ほどその傾向は強いと思われる。こうした戦争の記憶を記録として正確に次世代に伝えるのは我々の責務であり、研究機関からの協力を仰ぎながら事業内容を検討してまいりたい。

質問 大仙市の郷土史研究家の史料の保存方法はないのか。

市長 大仙市アーカイブズの開館を機に、個人所有史料の寄贈・寄託にも応じて散逸防止に努め、地域の記憶と記録を守る「セーフティネット」としての役割を果たしていく。

市民との「協働」の進め方は

質問 これからの市政は、市民と「協働」が最も大切と考えるが。

市長 市では「市民と行政との協働によるまちづくり」を旗印に、地域協議会などを通じ、市民と一体になったまちづくりに取り組んできた。平成18年度からは「市政評価」により施策の満足度、重要度について評価をいただくことも、昨年度からは「個別事業評価」を実施し、分析結果を反映させている。今年度新たに「政策調整会議」を設置し、施策のスクラップアンドビルドや人口問題に関する検討を行っていく。



日本共産党 議員
藤田 和久

質問 近年、孤独死が増えていると聞く。孤独死に関する統計や実体はどうなっているか。

市長 市の孤独死に関する統計や実体については、平成24年度以降、本年5月までに26件であり、このうち約7割の18件が一人暮らしの生活保護者で、次いで一人暮らし高齢者が5件となっている。

質問 市の孤独死対策として、どのような対策を取ってきたのか。

市長 市では民生委員を中心とした見守り支援や、地域見守り協力事業所からの協力を得ながら、地域での見守り体制を構築してきた。また、ふれあい安心電話や各種相談事業、生活困窮者自立支援事業、生活支援体制整備事業などに取り組んでいる。

質問 孤独死をなくすための対策を徹底的に強化できないか。

市長 これまでの地域の見守りや支え合いの事業を継続しながら、孤独死を防ぐための取り組みを強化してまいりたい。

Q 孤独死をなくす対策を
できないか

A 孤独死を防ぐ取り組みを
強化していく

小中学校で働く嘱託職員の
賃金改善を

質問 小中学校で働く嘱託職員の多くは6時間勤務で、賃金は10万円未満と聞く。職員の生活を守るため、賃金を引き上げできないか。

教育長 市内小中学校には現在、嘱託校務員が30人、嘱託校務員が33人勤務している。賃金については月額により支給しており、市が雇用している同様の業務を行う臨時職員と同等の額となっている。そのため、小中学校の嘱託職員のみを引き上げるとは困難だが、他の臨時職員も含め、市全体のバランスの中で賃金改善ができないか検討してまいりたい。



だいせんの会 議員
古谷 武美

質問 現在の循環ルートを高畑・古四王・小貫・追分・川目まで延長できないか。

市長 循環ルートの延長については、民間事業者の路線バスが川目・追分を運行している点と、1時間以上の時間を要するため、運行回数を減らすことになるなど、利用者の利便性にはつながりにくいと考えている。

質問 現在の循環ルートに乗り換えできる藤木・角間川循環バスを新設できないか。

市長 藤木地区には現行の乗合タクシー藤木線、また、角間川地区には民間事業者のバスが運行されており競合が懸念されることから、住民ニーズの把握やバス事業者・タクシー事業者との協議など、十分な調査・検討が必要と考える。

質問 国道から離れた花館・幸町・大花町・丸子町・福見町方面の北側ルートの新設は可能か。

市長 花館地区や丸子町・福見町はコミュニティバスが運行されており、幸町・大花町は大曲駅にほど近く、乗り合いタクシーの乗

Q 循環バス運行ルートの
延長は可能か

A 延長は利用者の
利便性にはつながりにくい

降場所になっている。しかし、近年、開発が進み新興住宅街となったため、交通網が不十分な区域も出てきており、地域住民のニーズ調査を実施し、循環バスを拡充することによるバス事業者・タクシー事業者への影響等も調査しながら、設置に向けた検討を進めてまいりたい。

※このほか、「大仙市地元酒等乾杯推進条例」施行後の地場産業への影響について、市民のモラル・マナー向上の取り組みについて質問しました。





市民クラブ 議員
佐藤 隆盛

Q 農村村と町部が一体となったまちづくりをどう進めるのか

A 必要に応じた事業実施を心がけていく

質問 さびれていく農村部の不満をどう解消し、町部と一体となった大仙市づくりを進めていかれるのか。

市長 各地域の資源や産業、伝統や文化の地域特性や独自性を大切にしながら、本庁および各支所が元気づくりの拠点となつて施策を進めるために、各地域協議会や関係機関のご意見・ご提言をいただき、必要に応じた事業実施を心がけていく。

小中学生の交通安全対策は

質問 小学校通学路の安全対策は万全か。

教育長 安全安心については、これで完璧ということはない。引き続き学校からの情報を基に点検活動を実施し、関係機関と連携して安全確保のための具体的な対策を検討しながら、児童生徒の登下校時の安全確保に努める。

質問 中学生への自転車ヘルメット購入支援について伺う

教育長 ヘルメット着用への一層の理解を進めるとともに、生徒や保護者の経済的な負担を考慮し、ヘルメット購入者に対する具体的な支援の在り方について検討していく。

市長 教育長とも協議しているが、交通安全の推進やヘルメット着用を奨励する意味で、補助制度を作つて対応したい。



日本共産党 議員
佐藤 文子

Q 国保税の子どもの均等割額の軽減を

A 国保以外の子育て世帯との間に公正性を欠く

質問 高い国保税の要因である応益割、特に均等割は子どもの多い世帯ほど重税感があり、子育て支援への逆行との指摘がある。市の福祉施策として、子どもの均等割額を軽減してはどうか。

市長 国保以外の健康保険に加入している子育て世帯との間に公平性を欠いてしまうことにもなり、これまでどおり、現在実施している子育て支援の各施策により支援してまいりたい。

質問 平成30年度から始まる国保の都道府県化は給付費削減と住民負担の増加をもたらすと考えられるが、基準外繰入を行い、国保税の引き上げを行わないよう求める。

市長 被保険者の皆さまに急激な負担が伴わないように、財政調整基金の運用等と併せて、必要に応じて基準外繰入を実施してまいりたい。

な人員不足が言われ、国では処遇改善加算等を実施してきたが、どう評価しているのか。併せて市内事業所の保育士・介護士の人数を伺う。

市長 保育士については、市内全ての保育所等が加算の認定を受け、全職員へ支給されている。介護職員については、県知事への介護職員処遇改善計画の届け出や実績報告書の提出が義務づけられていることから、職員の賃金改善は適正に行われていると考える。市内に勤務する保育士は、臨時・パートを含め448人、介護職員は1692人となっている。

質問 市独自に福祉職員の賃金改善・人員増に向け、処遇改善策を講じてはどうか。

市長 保育士に対し「臨時保育士等処遇改善事業」の創設や「保育士就労奨励金」を倍増しており、保育士確保につなげた。介護士については、人員不足と答えた事業所のうち60事業所で「介護助手」の雇用を考えており、介護職員の処遇改善につなげる仕組みに取り組む。

質問 保育士・介護士の慢性的

福祉事業所職員の処遇改善を

企画産業常任委員会

単行案1件、補正予算案1件を審査しました。

●コミュニティ助成事業は、市が申請できるか？

【問】地域の自治活動を行う団体等が主に事業主体となっているが、大仙市全域を対象とした屋外のイベントや災害時にも使用できる大きなテントを、市が事業主体となって申請できるのか。

【答】市でも申請は可能で、支所でイベント用テントを購入した例もある。しかし、住民による団体の方が優先されて採択されているようである。

●ウライの施工業者は？

【問】鮭資源等確保活用事業で、ウライを設置する施工業者はどこか。

【答】今回の設置は、昔使っていたものを委託先である雄物川鮭増殖漁業生産組合が補修し組み立てを行う。また、捕獲槽は、現在使用している捕獲槽を製作した神岡地域の業者をお願いしたい。



●松材の値段が安いのは？

【問】マツ炭の原料となる松材の値段が、雑木の値段よりも安いがどうしてか。

【答】松材の値段については、森林組合・仙北地域振興局と協議を行っている。これまで松材には相場がなかったため、山からパルプ材等を搬出する場合の労働単価等を参考にしている。



総務民生常任委員会

条例案2件、単行案1件、補正予算案1件、陳情2件を審査しました。

●市独自の利用は？

【問】マイナンバーを出すことによって、個人のさまざまな情報が、行政で取得できるということはあるのか。

【答】利用できる情報は法令や条例で厳格に定められており、それを超えるような情報を把握することはできない。

【問】条例事務関係情報照会者が加わったことにより、プライバシーに係わる情報もインターネットでやり取りできるようになるが、市では独自に利用することを現時点で想定していないとする要因は何か。

【答】条例事務は現在のところ想定していないと説明したが、今後の検討によっては、住民の利便性の向上のため、必要に応じ利用することはあり得る。

●さくまる館の管理は？

【問】さくまる館の今後の管理形態については、どのように考えているのか。

【答】管理については仙北庁舎の附帯施設ということで、市直営で支所の職員が行っていく。



史跡の里せんぼく「さくまる館」

●車両価格はいくらか？

【問】小型動力ポンプ付積載車は、1台どれくらいの価格か。

【答】車両は改造費を入れて400万円、小型動力ポンプが200万円、合わせて600万円である。

建設水道常任委員会

単行案2件、補正予算案3件を審査しました。

●移転先が「未定」の意味は？

【問】協和地域の「岩瀬・湯野沢地区宅地造成事業」で、築堤に伴う移転対象者の34戸のうち、集団移転を希望しているのは16戸だが、ほかの方々は別の場所に移転を希望しているのか。

【答】意向調査を行った結果、移転対象者34戸のうち、集団移転を希望しない方は18戸であり、その内訳は市内の別の場所に移転を希望している方が11戸、市外に移転を希望している方が5戸、未定が2戸という状況である。

【問】その未定の2戸は「現状のままで良い」「移転したくない」などと考えていて、それで未定となっているのか。

【答】国直轄の築堤事業により、必ず移転することが前提となっている。この2戸については集団移転は希望しないが、別の場所に移転する意向であることを確認している。その移転先が未定ということである。

●なぜ減額になったのか？

【問】協和中央浄化センター長寿命化対策工事で、1,360万円が減額になった理由は何か。

【答】汚水処理槽2槽分の返送汚泥ポンプ制御盤の更新において、機器の故障につながるノイズ電流が発生することを仮定して、ノイズ電流対策機能付き制御盤2台分を当初予算に計上していたが、発注段階で精査したところ許容値に収まっており不要と判断され、その分が減額となったものである。その減額分は、前倒して実施する強首浄化センターの機械・電気設備工事等に活用する。



協和中央浄化センター

教育福祉常任委員会

単行案1件、補正予算案2件、陳情1件を審査しました。

●石綿の使用はなかったのか？

【問】校舎等維持補修および施設整備費（小学校）について、平成28年度に専門業者による分析等調査を実施し、7校の煙突で石綿の使用が確認されたとのことであるが、それ以外に使用は認められなかったのか。

【答】7校以外に使用は確認されなかった。

【問】集中管理となっている暖房設備を効率や燃費を考え、教室ごとの独立管理に切り替えることは考えなかったのか。

【答】暖房設備の管理方法について切り替えも考えられたが、それを行うには大規模な工事となり、莫大な経費となることが予想されることから、今回は煙突のみの改修を実施することとした。

●各教育事業を今後も実施するのか？

【問】キャリア教育推進「総合的な学力育成」事業費およびだいせん防災教育「生き抜く力育成」事業費について、今後も年次計画を立てて継続する予定はあるのか。

【答】どちらも国や県の委託を受けた単年度事業であり、来年度以降については不明であるが、内容が良いので同じような事業ができないか検討してまいりたい。

【問】どのような経緯で対象校が選定されたのか。

【答】キャリア教育については、大曲支援学校と大曲西中学校等が以前より交流しており、障がい者に対するさらなる理解を深めてもらおうと選定し、防災教育は平和中学校が被災地交流事業のほかに避難所開設訓練を毎年行っていることもあり、これらにプラスしてさらなる充実を図りたいと選定した。



平成29年第1回臨時会 議決結果

番 号	件 名	議決結果
報告第2号	専決処分報告について(大仙市税条例の一部を改正する条例)	承 認
報告第3号	専決処分報告について(大仙市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承 認
報告第4号	専決処分報告について(平成28年度大仙市スキー場事業特別会計への繰入額の変更)	承 認
報告第5号	専決処分報告について(平成28年度大仙市一般会計補正予算(第11号))	承 認
報告第6号	専決処分報告について(平成28年度大仙市スキー場事業特別会計補正予算(第3号))	承 認
議案第62号	財産の取得について[小型除雪車(1.3m級) 2台]	原案可決

平成29年第2回定例会 議決結果

番 号	件 名	議決結果
議案第63号	副市長の選任について	同 意
議案第64号	監査委員の選任について	同 意
議案第65号・第66号	教育委員会委員の任命について	すべて同意
議案第67号～第69号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	すべて同意
議案第70号～第93号	農業委員会委員の任命について	すべて同意
議案第94号～第98号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	すべて同意
議案第99号	(仮称)花火伝統文化継承資料館等整備事業建築工事請負契約の締結について	原案可決
議案第100号	大仙市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第101号	大仙市史跡の里せんぼく「さくまる館」条例の制定について	原案可決
議案第102号	財産の取得について[消防用軽四輪駆動小型動力ポンプ付積載車 8台]	原案可決
議案第103号	平成29年度大仙市公共下水道事業特別会計への繰入額の変更について	原案可決
議案第104号	平成29年度大仙市特定環境保全公共下水道事業特別会計への繰入額の変更について	原案可決
議案第105号	平成29年度大仙市スキー場事業特別会計への繰入額の変更について	原案可決
議案第106号	平成29年度大仙市一般会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第107号	平成29年度大仙市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第108号	平成29年度大仙市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第109号	平成29年度大仙市スキー場事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
陳情第57号	共謀罪(テロ等組織犯罪準備罪)法案の国会提出に反対する陳情	継続審査
陳情第59号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合2分の1復元をはかるための、2018年度政府予算に係る意見書採択の陳情について	採 択
陳情第60号	地方財政の充実・強化に向けた意見書提出を求める陳情書	採 択
意見書案38号	地方財政の充実・強化を求める意見書	原案可決
意見書案39号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合2分の1復元を求める意見書	原案可決

第2回定例会賛否一覧

※議案等について、賛成、反対の双方があった場合のみ、表示しています。

議案等名	議決結果	大地・公明の会													新政会					だいせんの会					共産党	市長						
		鎌田正	高橋幸晴	大山利吉	金谷道男	秩父博樹	後藤 健	佐藤育男	石塚 柏	富岡喜芳	大野忠夫	本間輝男	千葉 健	橋本五郎	小松栄治	佐藤清吉	渡邊秀俊	茂木 隆	小山緑郎	高橋敏英	佐藤芳雄	古谷武美	橋村 誠	児玉裕一	高橋徳久	佐藤文子	藤田和久	佐藤隆盛	三浦常男			
議案第100号 大仙市個人情報保護条例の一部を改正する条例 の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案賛成者は○とし、反対者は●とします。「欠」は欠席です。議長は採決に加わらないため、斜線としています。

平成28年度政務活動費の収支状況をお知らせします

政務活動費は会派ごとに交付されており、交付額は1人当たり月15,000円です。
 収支の内容は毎年度議長に報告され、残額がある場合は市に返還することになっております。
 市民の方ならどなたでも閲覧できますので、詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

(単位：円)

項目	会派名 大地・公明の会 (13人→12人)	新政会 (6人)	だいせんの会 (5人)	日本共産党 (2人)	市民クラブ (1人)	
会派への交付額	2,325,000	1,080,000	900,000	360,000	180,000	
支出額	2,306,630	1,048,255	628,020	133,722	180,000	
内 訳	調査研究費	2,294,630	1,043,111	618,770		179,144
	研修費					
	広報費				133,722	
	広聴費					
	要請・陳情費					
	会議費					
	資料作成費					
	資料購入費					
その他の経費	12,000	5,144	9,250		856	
差引額(返還額)	18,370	31,745	271,980	226,278	0	

【政務活動費の項目解説】 (支出のあったもの)

- ・調査研究費：市の事務、地方行財政等に関する調査研究および調査委託に関する経費
- ・広報費：活動、市政について住民に報告するために要する経費
- ・その他の経費：内訳に記載以外の経費で、調査研究・その他の活動に必要な諸費

大仙市議会「市政懇談会」を開催しました

6月26日～30日までの5日間、大仙市議会「市政懇談会」を開催しました。
 議員が5班編成で市内10カ所に出向き、議会の活動状況や平成29年度予算の主な事業について報告し、市民の皆さまからは、たくさんのご意見・ご提言をいただきました。
 詳細については、後日、市議会だより第50号でお知らせいたします。

市政懇談会への出席者数



太田地域での市政懇談会

開催日	場 所	人 数
6月26日(月)	南外コミュニティセンター	24人
	はびねす大仙	11人
6月27日(火)	大川西根公民館	10人
	藤木公民館	19人
6月28日(水)	神岡福祉センター	15人
	中仙農村環境改善センター	17人
6月29日(木)	西仙北支所	35人
	協和支所	24人
6月30日(金)	太田文化プラザ	32人
	史跡の里せんぼく さくまる館	11人
計		198人

広報広聴常任委員会の行政視察報告

6月22日、埼玉県戸田市を視察しました。

テーマは「議会だよりの編集」「議会モニター制度」です。議会だよりの編集では、当市の議会だよりと違う四つの点について報告します。一つ目は「とだ議会だよりの」を見て、まず目につく題字の「とだ」を市内の小中学生に書いてもらっていること。二つ目は、メインの記事の内容を表紙に大見出しにしていること。三つ目は、議会のクイズを作って掲載していること。四つ目は、年に1回、常任委員会の年間活動成果を報告していることです。また、戸田市では、議会だよりの配布は町内会等を通じて配布しており、無駄なく配布していることへの質疑が交わされました。

次に、大仙市議会では実施していない「議会モニター制度」ですが、戸田市議会では、三重県四日市市議会を参考にしてスタートしております。原則18歳以上の戸田市民による15名の

定員ですが、応募者が少なく、現在5～6名のモニターの方々より議会へ提言していただいているとのことです。いくつか紹介しますと、「議会だよりにQ&Aコーナーを設け、議会の仕組み・権限等をわかりやすく説明してほしい」「請願の不採択の理由を知りたい」「市民のニーズや要望を踏まえた議員立法が欲しい」などの提言がありました。当市議会でも参考になる意見・提言のあった議会モニター制度の視察でした。

(委員長 石塚 柏 記)



「議会だよりの編集」「議会モニター制度」を学ぶ

そのほかの委員会の行政視察は、次のとおりです。次号で視察内容を報告します。

◇総務民生常任委員会

- 栃木県鹿沼市「鹿沼市消防署」(7/11)
(消防団充実強化ビジョンについて)

◇企画産業常任委員会

- 静岡県熱海市「起雲閣」(7/4)
(熱海市における起雲閣の活用について)
- 特許庁(7/5)
(特許庁における地域団体商標制度について)

◇教育福祉常任委員会

- 北海道北広島市(7/3)
(コミュニティ・スクールの取り組みについて)
- 北海道札幌市(7/4)
(子ども発達支援総合センターの運営について)

◇建設水道常任委員会

- 千葉県佐倉市(7/6)
(立地適正化計画の策定について)

◇議会運営委員会

- 愛知県知立市(7/18)
(開かれた議会への取り組みについて)
(議会基本条例制定後の議会の活性化等について)



3名の議員に永年勤続者表彰

5月24日に東京国際フォーラムで開催された「全国市議会議長会 第93回定期総会」で、鎌田正議員が在職20年以上、富岡喜芳議員が在職15年以上、小山緑郎議員が在職10年以上の功勞により表彰を受けられ、第2回定例会1日目の本会議開会前に、千葉健議長より表彰状が伝達されました。受賞おめでとうございます。



〔4月〕

- 11日 常任委員会正副委員長会議
会派代表者会議
広報広聴常任委員会
- 14日 議会運営委員会
- 19日 第1回臨時会・各常任委員会審査
議員全員協議会
広報広聴常任委員会
議会改革推進会議
- 28日 建設水道常任委員会「所管事務調査」

〔5月〕

- 8日 会派代表者会議
- 9日 総務民生常任委員会「所管事務調査」
総務民生常任委員会協議会
- 15日 企画産業常任委員会「所管事務調査」
- 22日 議会運営委員会
- 29日 第2回定例会（第1日）
企画産業常任委員会審査
議員全員協議会
広報広聴常任委員会

〔6月〕

- 8日 第2回定例会（第2日）
- 9日 第2回定例会（第3日）
公共施設等総合管理計画調査特別委員会
- 12日 各常任委員会審査・総務民生常任委員会協議会
- 15日 議会運営委員会
- 19日 第2回定例会（第4日）
広報広聴常任委員会
議員全員協議会
- 22日 広報広聴常任委員会「行政視察」（～23日）
- 26日 市政懇談会（南外地域・大曲地域）
- 27日 市政懇談会（大曲地域大川西根地区・藤木地区）
広報広聴常任委員会
- 28日 市政懇談会（神岡地域・中仙地域）
- 29日 市政懇談会（西仙北地域・協和地域）
- 30日 市政懇談会（太田地域・仙北地域）

議長交際費（4月1日～6月30日）

	件数	金額
予算額		900,000円
支出額	23件	159,368円
内訳	弔慰	1件 10,000円
	慶祝	16件 115,000円
	協賛	6件 34,368円
予算残額		740,632円

ようこそ 大仙市へ

行政視察の受け入れ状況をお知らせします。

〔4月〕

- 20日 埼玉県川越市議会【※秩父議員出席】
（農業経営と担い手対策について）
- 21日 長崎県大村市議会【※千葉議長出席】
（空き家の適正管理の取り組みについて）
- 22日 長崎県大村市議会
（大曲市民会館の概要について）
- 24日 佐賀県神埼市議会
（学力向上対策について）

〔5月〕

- 17日 広島県府中市議会
（地域医療・精神医療施策について）

〔6月〕

- 19日 宮城県山元町議会
（小中学校の学力向上について）
- 29日 栃木県上三川町議会
（小中学校の学力向上について）

用語の解説

【政務活動費】

地方自治法に「普通地方公共団体は、条例の定めるところにより、その議会の議員の調査研究に資するため必要な経費の一部として、政務活動費を交付することができる」と規定されています。大仙市においては、1人に対して月額1万5千円を所属会派に交付しています。

9月定例会日程のお知らせ

- 8月28日(月) 本会議第1日（市政報告、議案等上程）
- 9月5日(火) 本会議第2日（一般質問）
- 6日(水) 本会議第3日（一般質問、議案質疑、委員会付託）
- 7日(木) 常任委員会審査
- 8日(金) 常任委員会審査
- 13日(水) 本会議第4日（委員長報告、質疑、討論、表決）

※現時点での予定であり、変更される場合があります。
変更内容は随時、議会ホームページでご案内しています。

まちづくりは住民自決

県の人口が100万人を切り、地方都市もなんとなく元気をなくしている中、4月に新市長が誕生。「明日の大仙を拓く新たなチャレンジ」を掲げ、はや3カ月。精力的に市政に取り組んでいる。

大仙市議会も毎年精力的に市政懇談会を続けている。そこでは市議会議員が、丁寧に住民の声に耳を傾けてくれるという。前は予算がないからと頭から否定された時期もあったが、今はすぐに取り掛かってくれてありがたいと、ある住民が話していた。

平成の大合併から13年目。市の借金も減少させながらまずは土台を固め、いよいよ魅力的な活力ある大仙市を創造する第2ステージの開幕だ。いろいろ要望もあるが、私はまず、まちづくりは住民自らがつくるという気概を持つことが出発点だと思う。地域に眠っている優れた点を発掘し、それを積極的に取り上げ、議会の声として提案できるように頑張っていたきたい。

(大曲地域 70代男性)

【訂正とお詫び】「だいせん市議会だより」第48号17ページの「第2回中学生議会」の記事に誤りがありましたので、次のとおり訂正するとともに、関係者に深くお詫び申し上げます。
【誤】大曲西中学校 【正】仙北中学校

大仙市の歴史巡り (中仙地域)

サイカチ

一里塚の巨木



中仙地域豊岡地区の旧白岩街道沿いに生育するサイカチです。慶長9年(1604)に幕府の命により、街道を整備して一里塚を築くよう定められ、主街道である羽州街道は主にケヤキが植えられ、脇街道の白岩街道や盛岡に通じる南部街道には主にサイカチが植えられました。この一里塚は、羽州街道の六郷一里塚(現仙北郡美郷町六郷)から六つ目の一里塚であり、横沢一里塚(現大仙市太田町横沢)から三つ目の一里塚です。推定樹齢はおよそ400年にもなり、樹冠が道の反対側にまで達するほどの巨木です。

(小山緑郎 記)



編集後記

現在の広報広聴常任委員会メンバーによる「だいせん市議会だより」のお届けは、9月で任期が満了となることから、今回の第49号で最終となります。

市民の皆さんにとって「見たい」「読みたい」「知りたい」ことがわかりやすく伝えられる議会だよりになっていくのか、常に改善を重ねてきたつもりですが、なにせ素人集団による編集ですので、それぞれから提出される原稿の取りまとめでは、事務局の頭を悩ますことしきりです。ポイントをしっかり押さえ、端的にまとめ、決められた文字数に収める作業はつくづく難しいものだと感じてきました。

しかし、こうしたことが一般質問をはじめ、委員会審査・市政懇談会など、議会・議員活動にとって大きな糧となつているのだと思つているところです。次号だいせん市議会だより第50号からは、新しい広報広聴常任委員会によってお届けいたします。より洗練され、皆さまの期待に応える市議会だよりとなることを願うものです。

これまでの2年間、市民の皆さまからは議会傍聴や市政懇談会、取材活動等を通じ、たくさんのご意見・ご感想・ご要望をお寄せいただきました。ご協力に心から感謝申し上げます。

(佐藤文字 記)

広報広聴常任委員会

- 委員長 石塚 柏
- 副委員長 小山緑郎
- 委員 秩父博樹
- 委員 佐藤文子
- 委員 佐藤幸男
- 委員 橋村 誠
- 委員 高橋幸晴
- 委員 小松栄治
- 委員 渡邊秀俊
- 委員 大山利吉

